

(トップページ: <http://mylibrary.maeda1.jp/>)

(MENAランキングシリーズ: <http://mylibrary.maeda1.jp/MENAranking.html>)

マイライブラリー:0496

(注)本稿は 2020 年 3 月 2 日及び 4 日の 2 回にわたり「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

2020.3.4

前田 高行

世界と中東主要国の「腐敗認識指数」

(世界ランクシリーズ その6 2019 年版)

国連などの国際機関あるいは世界の著名な研究機関により各国の経済・社会に関するランク付け調査が行われている。これらの調査について日米中など世界の主要国及びトルコ、エジプト、イランなど中東の主要国のランクを取り上げて解説するのが「世界ランクシリーズ」である。

第6回のランキングは汚職追放を目指す世界の NPO 法人 Transparency International(略称:TI、本部ベルリン)が毎年発表している「Corruption Perception Index(腐敗認識指数)」について MENA 諸国をとりあげて比較しました。

* ホームページ

TI 本部: <http://www.transparency.org/>

日本支部: <http://www.ti-j.org/>

1. 「Corruption Perception Index (腐敗認識指数)」について

Corruption Perception Index(CPI, 腐敗認識指数)は、公務員と政治家がどの程度腐敗しているか、その度合いを国際比較し、国別にランキングしたものである。ベルリンに本部のある NPO 法人 Transparency International(TI)が手がけており、日本にはその支部「NPO 法人トランスペアレンシー・ジャパン」がある。

CPI は1995年に第一回の指数を発表、今年で22回目である。調査当初は対象国が41カ国、調査内容も7種類と小規模であったため、各国からは調査結果に対する不満が出たが、回を重ねるに従い内容の信頼性も高まり今回の対象国は180か国である。そのうち MENA 地域の対象国はパレスチナ自治政府を除く19か国である。

評価は各国の実業家或いは分析専門家など実務で腐敗の現場に直面している人々の経験や認識に基づくアンケートを統計処理したものであり、CPIは0から100までのスコアで国を採点している。0点は最も腐敗していると考えられる国を、100点は最も透明性が高い国であることを示している。

(日本と UAE が20位、21位で競り合う！)

2. 2019年の世界ランク及び2018年との比較(末尾表 6-T01 参照)

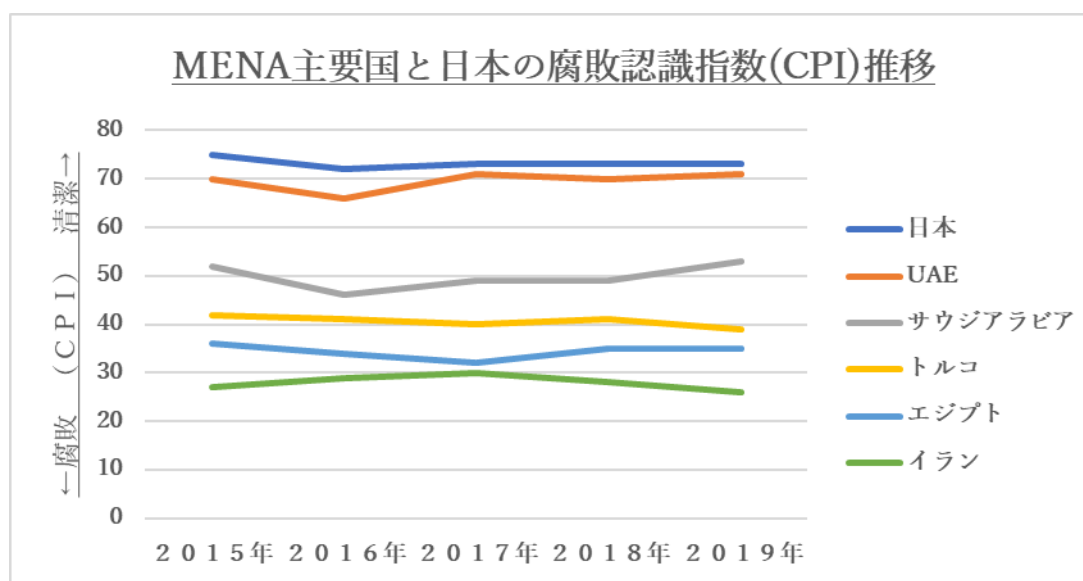
2019年の腐敗認識指数世界ランクのトップ(即ち清潔度が世界一の国)はデンマークとニュージーランドであり、両国のスコアは87である。これに続く3位はフィンランド(スコア86)、4位にはスコア85でシンガポール、スウェーデン及びスイスの3カ国が並んでいる。昨年の世界ランクと比較するとデンマークが2年連続で1位を獲得、ニュージーランドが世界2位であった。フィンランド、シンガポール、スウェーデン及びスイスは世界3位で並んでいる。

日本を含む主要な国々の世界ランクを見ると、日本は世界20位であり前年の18位より少し落ちている。米国は日本よりわずかに低い世界23位であり、昨年(同22位)とほぼ変わらない。韓国は世界39位、中国及びインドは同じ41位であり、日本より劣るものの世界180カ国の中では上位グループである。これら3か国に共通しているのはいずれも前年よりランクが上昇していることであり、韓国は45位→39位に上がっている。特にインド(78位→41位)と中国(87位→41位)は大きくランクを上げている。これに対してロシアは昨年、今年といずれも130位台後半にとどまっており腐敗度の改善が見られない。

中東の主要国では、UAE が世界21位と中東では最も高く、日本(20位)に次ぐ高い評価を受けている。イスラエルは世界35位でほぼ韓国並みである。またサウジアラビアは世界51位であるが昨年の58位から7ランク上がっている。

トルコ、エジプト、イランの中東三大国はいずれもランクが低く、トルコは世界91位、エジプト106位であり、イランは世界180カ国中の146位にとどまっている。因みに世界最下位はソマリアである。

3. 日本と中東主要国の腐敗指数の推移(2015～2019年)



日本と中東6カ国(UAE、サウジアラビア、トルコ、エジプト及びイラン)の2015年から2019年までの5年間の腐敗認識指数の推移を見ると、2015年の指数は日本が75、UAE70、サウジアラビア52、トルコ42、エジプト36、イラン27であった。

その後、各国とも変化は小さいが、5年間を通して見ると日本は指数が下がる(即ち腐敗度が上がる)傾向が見られる。UAE及びサウジアラビアの湾岸君主国は2016年に若干指数が下がった後、最近では改善傾向が見られる。エジプトも2017年まで下落し、その後上昇している。これに対してトルコとイランは2019年の指数が5年前の指数を下回っており、腐敗度が進行しているようである。

以上

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642
E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

腐敗認識指数(CPI)ランキング

2019年			2018年		2019/2018年	
世界順位	国名	スコア	世界順位	スコア	順位	スコア
1	デンマーク	87	1	88	0	▲ 1.0
1	ニュージーランド	87	2	87	1	0.0
3	フィンランド	86	3	85	0	1.0
4	シンガポール	85	3	85	▲ 1	0.0
4	スウェーデン	85	3	85		0.0
4	スイス	85	3	85	▲ 1	0.0
最下位 (180位)	ソマリア	9	180	10		▲ 1.0
23	米国	69	22	71	▲ 1	▲ 2.0
20	日本	73	18	73	▲ 2	0.0
9	ドイツ	80	11	80	2	0.0
39	韓国	59	45	57	6	2.0
41	中国	80	87	39	46	41.0
137	ロシア	28	138	28	1	0.0
41	インド	80	78	41	37	39.0
	(中東主要国)					
35	イスラエル	60	34	61	▲ 1	▲ 1.0
21	UAE	71	23	70	2	1.0
51	サウジアラビア	53	58	49	7	4.0
91	トルコ	39	78	41	▲ 13	▲ 2.0
106	エジプト	35	105	35	▲ 1	0.0
178	シリア	13	178	13	0	0.0
146	イラン	26	138	28	▲ 8	▲ 2.0